

2023 年 11 月 18 日(土)夜『神聖で繋がり合う日』 メール前文と始めの話

2023 年 11 月 18 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

「心境が落ちたかな、下がったかな」と思ったときこそが、私達の俯瞰の視座を本ものに磨きあげる大切な瞬間です。なぜなら、「わかった」「できた」と思って観ていたものが、実は思い込みや決め付けによる小さな見方だったことに気が付け、それらの想いを手放せる絶好の機会だからです。

”人の進化”は右肩上がりには一直線に上がるものではなく、グルグルと円を描きながら螺旋状に昇ってゆくといわれています。その状態を平面状態で観ますと、並行に進む時間が長く続き、あるとき垂直に近い状態で急上昇し、また平地を歩むような日々が続き、忘れた頃にまた大いなる進化を果たし…といった状態を繰り返しながら進化してゆく状態が見て取れます。

「心境が下がったかも知れない」と思えるその心持ちこそが、心内の時計が午前 3 時から 4 時くらいの夜明け前の時間を指していて、間もなく夜明けの刻(とき)が来ることを示唆しています。

別の面からいえば、私達の守護霊・守護神は、一秒一秒、一瞬一瞬における私達の裸の想念（意識状態）をジューッと注視しながら見守られています。何が出来ているとか、出来ていないとかいうような時々の結果や現状などは一切問題視されていません。

大切なことは、道の途上で何を思い動いているかであり、過程における意識の運用です。過去も未来も包含した本当の今、すべてを生かす今はそこにこそ在ります。

守護の神霊は、私達が「まだ理想の自分になっていない」と感じながらも、諦めることなく真摯に“自分育て”に取り組み続けていることをしっかりと観てくださっています。そして、自分磨きのコップに”いのちの水”が満ちたタイミングを見計らって、一瞬のうちに心境を引き上げてくださいます。

他人に感じた想いを自分に向け直す練習の日々のなかで、「手放せた」と思い込んでいたのに実は手放せていなかった場合などは、守護霊にはその精神状態が丸見えですので、夢に現わして消し浄めてくださるか、現実生活のなかで苦悩のような状態に現わして、手放すチャンスを与えてくださいます。

日常生活のなかで私達が感じる想いのなかで、自らの内(なか)に原因がないことはないのですが、私達が「肉体こそが自分だ」と思い込んでいるかぎりには、その事実になかなか気がつかないため、守護の神霊が消えてゆく姿にするつもりで現わしてくださった出来事や現象に対して、再び三度と把われてしまい、似たような課題を繰り返してきました。

本当のことを申しますと、私達が本当に俯瞰すべき対象は『自分自身のいのちの全貌』であり、他人や世界ではありません。そこで、本当に観るべき対象である心の中のありのまま（内なる宇宙）を見つめるために、土曜日の夜は 21 回の神聖復活の印を組んでいる間に、ゆっくりと回転する地球を見つめながら組むという取り組みをしています。

その時に観ている地球を、“自分の魂の球体”だとイメージして見つめてみてください。そうすると、世界の状況や他人の言動行為に感じた想いの原因が、すべて自分自身にあったことが手に取るようにわかって見えてまいります。

土曜日の夜はそのように、「世界は私自身である」「私は地球そのものとまったく一つの存在だったのだ」と思いながら、この惑星で起こっているあらゆる出来事や現象を批判・非難・評価なしに見つめてゆきたいと思います。そうすることで私達は、いつの間にかすべてを赦し愛せるようになり、全人類と大自然と生きとし生けるものすべてに、より強力な光を放てる大きな魂に変貌してゆきます。

2023 年 11 月 18 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 始めのお話

皆様、こんばんは。夜のズーム祈りの会を始めます。今夜は、心を大きく広げて、「私は地球であり、宇宙でさえある。故に、世界は私自身なのだ」という意識に立って、澄み清まったその心をもって、大調和の光を放ってゆく日にしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

そのために本日は、ご存じの方も多くおられますが、ご存じない方も参加しておられるため、はじめに「人間は神の分霊(わけみたま)である」という言葉について再確認したうえで進めてまいります。

「人間は神の分霊(わけみたま)である」という言葉の意味ですが、これは、「人間は、宇宙を創り運行しているいのちの元が持つ、無限なる力と叡智を分け与えられた存在である」という意味になります。『宇宙を創造し運行している意識が人間の命の根底にある』というわけです。

ちなみに「分霊(わけみたま)」という言葉は、“分ける霊“、“分霊(ぶんれい)”と書いて「分霊(わけみたま)」と読みます。

そのことを確認したうえで心の眼を地球世界に移しますと、現在の地球は、自分達が無限なる力と叡智を持っていることを忘れた人がほとんどであるため、たくさん的人类が消えてゆくために表われた不調和な現象や状況に対して、さらにそれを悪化させるようなネガティブ感情を増産して、地球の運命をさらに混迷化させています。

心ある人たちがそれを浄めても浄めても、それと同じくらいにネガティブな想いが次から次へと現われてくるため、たちどころこのような状態になっているとも言えます。

そうなってまいりますと、いつまで経っても地球は宇宙の大調和の法則に乗ってゆけない為、宇宙の法則により、その状態を大きく一気に浄める必要が生じてまいります。それが大きな戦争や天変地異のような現象になって現われています。

どんな困難があっても、人間はその度に復興を果たしてきました。これからも人類は、どんな事態からも立ち直ってゆくと信じています。そのような世界にあって、地球世界の平和を心の底から願い、信じている私達は、地球人類と共に恐怖や悲しみなどの感情を共有しながら、その度毎に心の中に神の愛を育ててきました。

私達の心に育ち続けている神の愛は、今では肉体の両腕では抱えきれないくらいの規模に育って、自分の家族、町内、都道府県、祖国は当然のこと、世界を包み込むまでになりました。

本日は、私達がそのように大きな愛そのものであることを自覚しながら、地球界に“命の喜びと感謝”の種を蒔いてまいります。そのとき、私達の本心・本体は、同時にこの世のすべてに祝福の光を振り撒いています。そのことに自信と確信を持って、地球にかかわるすべての状況と脳裡をよぎる想いを一望しながら、『すべてを生かし育むいのちの大元からの光』を放ってまいります。

それでは、世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。三分半の CD を使って行ないますので、眼を閉じて神聖の視座に焦点を合わせてお祈りください。私が「はい、ありがとうございます」と申し上げましたら目を開けてください。それでは始めます。